

読者の声



白内障

港区いこい中老人クラブ
小池 吉彦

西の空に残月、極寒の朝焼け、「カーン」とスルドイ金属音に驚いた数羽の鳩が木々の間をぬって空たかく舞い上がって行く。グラウンド・ゴルフ愛好会の始まり。だが私には、その先のポールとボールが、ぼやけて見えにくい。今年に入ってますます見づらくなってきた。

同僚に眼科医に行けと、背中を押される。郡上八幡出身のある著名の方のエピソードで、「教壇に立つ長女が末席に座る子供の顔が見づらいと言って1泊2日で手術して、父さんも行けと背中を押され眼科医の門を叩いた」とおっしゃっていたことを思い出した。

左目は失明の恐れ、右目は大丈夫との診断。紹介状を手にT病院の受付へ。早速ビデオで手術の手順について説明を受ける。当病院では既に1万回以上手術をしているが、失敗は1回もない。ご安心をとのこと。3泊4日まず左目からと、失敗しても右目は大丈夫とのこと。眼球にすうつと線が走ったなと思った2〜3分後、「はい終わりました」と言い渡された。30分後、眼帯を外すと、世間が違って見えた。右目もしっかり。日本の医学の進歩に驚愕。

テーマ投稿 1月号のテーマ 「思い出の品」

思い出の品

守山区芙蓉会
加藤 昌子

外出する時はバス停まで8分歩きます。行きは下り坂ですが、帰りは登り道。今の頃、右足腿がだるく痛い。踵も気になって来ました。2年間のコロナ生活で運動不足、それとも老化現象?

2年前からバス停近くに転居を考えていて今度バス停まで2〜3分の所に移る事が出来ます。引越準備で押入整理中捨てたつもりの和裁用のコテが残っていました。20センチ角木箱の中に鉄の筒15個の上に2つ穴。穴の中にコ

テを差し入れ、下から電気コンセントを通し温めて使います。

和裁教室で着物を縫いながら友達とワイワイ語り合った若い時代、おぼろげに顧みてコテを手にして物思いに浸りましたが結局捨てることにしました。

私には懐かしい思い出の品です。



思い出の品

南区第一宝寿会
青山 好子

忘れもしない62年前の伊勢湾台風。夕方から経験した事のない風雨に家がきしむ音。長男4年生と長女2年生は2階で就寝していたのに、怖いから下に降りたいとせがむのを引き止めた私。主人と従業員の間で雨戸の補強を外側からトントン打ち終え、家に入ろうとしたが、内側から施錠のため入られず、大声で入れてくれと呼ぶ声。咄嗟の判断で施錠をはずす私。2人が家に入るや否やくさい濁流が流れ込み、茫然とする主人と私。征男君が目にした蚊屋の中

の2人。次男2歳、次女6歳を蚊屋を引きちぎり、布団と共に素早く2階に避難させ、次いで私の嫁入り道具と筆筒も上げてくれた。

今では古びたその筆筒、今も2階にましまして、あの日の征男君の素早かった判断と行動力を決して忘れる事は有りません。還暦過ぎた4人の息子や娘達。92歳の私を暖かく見守ってくれています。征男君本当にありがとう。



母の形見

中村区福寿会
太田 鈴江

思い起こすと母が亡くなって45年が過ぎます。その前日、私と長い事電話をしており、母が「明日病院に診察に行くから」と言いましたので、「気をつけて行ってね」と電話を切りました。

思い出の品

千種区新田扇寿クラブ
竹本 脩

私がまだ若かった頃、趣味で記念切手を夢中になって買い求めています。当時の記憶に残る行事に合わせ発行された記念切手は、デザインも良く、きれいで素晴らしいものでした。



あの頃は記念切手の発行日には郵便局の前に必ず切手を買って求め人達の行列ができていました。宝石のような美しい記念切手を大切に桐の箱に長期にわたり保管してきました。

しかし昭和、平成、令和と生きてきた私はもう若くはない。少年の頃より美しい記念切手に恵まれて本当に幸せだったと思います。私の大切な「宝もの」美しい記念切手を近い将来に可愛い孫にプレゼントしたいと思っています。

読者の声

東山歩け歩けも毎年行きましたグラウンド・ゴルフも沢山行きましたが、股関節を手術してからちょっと御無礼してます。また元気になったら行けるかな?(港区S)

朝夕は、ちょっと秋らしくりましたが、日中は夏の日差しです。コロナも感染者の数は下がってますが、収まったとは思いません。いま、もう一度みんなで気を引き締めて用心予防しましょう!!(西区K)

やっと緊急事態宣言解除になったので、しっかり感染対策をしながら美術館や秋の街に出かけて、心に栄養をつけたいです。(緑区A)

なごやかひろばいつも楽しく拝読しています。皆様の活躍を見て私も頑張ろうと思っています。(南区H)

グラウンド・ゴルフ、マージャンクラブ、手芸クラブ、小学校児童見守りボランティア、公園清掃など、外に出る機会を作っていただけて感謝しています。夫87歳、私81歳ですが今のところ参加できるのでありがたいです。(天白区O)

次号テーマ 新たにやりたいこと、新しくしたいもの

「読者のページ」ではテーマも設けています。次号のテーマは「新たにやりたいこと、新しくしたいもの」です。

新年度の幕開けに伴い、新たに挑戦したいことや、気にはなっているがまだ購入には至っていない商品についての思いをお知らせください。

